

第64回定例会 議事録

日時 令和4年4月2日(土) 15:00~17:00
場所 自治会館
出席者 12人(自治会長、自主防災部長を含む)

■議題

1 今後の主な活動について

(1) 2022年度

- ①自宅避難や車中避難など、飼い主さん対象の講座を開催する。

※参考:「麻生区わが家の防災ハンドブック」

<https://www.city.kawasaki.jp/asao/cmsfiles/contents/0000121/121792/bousaihandbook.pdf>

最近の地震での福島避難所は、テントだらけであった。自宅避難でも避難所避難でも、テント避難の知識があると良いだろう。

②5月~

「初動対応アクションカード」の検討&手直し

(白鳥中学校、自治会、避難所運営会議と意見交換なども含め)

→危機管理に了承を得る

→「同行避難マニュアル」等の検討

→住民への周知

(2) 2023年度

- ・避難所開設訓練で「初動対応アクションカード」や「同行避難マニュアル」等のブラッシュアップ

2 高齢者のペット飼養と避難についての課題

- ・ペットを飼っている高齢者は、最初から避難所に避難しないと考えている人が多いらしい。
- ・災害時要援護者への自治会としての対応について情報共有。

3 川崎市防災協力事業所登録制度

事業所も地域の一員として、平常時から地域活動を通じて、地域との交流を深めるとともに、災害が発生した直後、できる範囲内で防災活動に協力し、被害の軽減や地域生活の早期復旧のため、貢献する制度。

比較的、小さな事業所が登録しているらしい。

川崎市防災協力事業所一覧 【麻生区】

<https://www.city.kawasaki.jp/601/cmsfiles/contents/0000032/32167/210714asao.pdf>

近隣(片平、白鳥)の登録協力事業所

- ・有限会社 タカハシレーシング
- ・有限会社 三成

- ・株式会社 道建
- ・あすなろテック株式会社
- ・有限会社 小川水道

今後、協力事業所の登録について相談をしてみたらどうか

4 近隣の事業所に協力を求めるための事前調査について

- ・何に協力をしてもらえば良いのか、ペット避難についての飼い主のニーズについてアンケート調査をしたい。
- ・アンケートの目的と位置づけを明確にしておく。
 - ・アクションカードは、人間用になっている。ペット同行避難可となったが、ペット同行避難を含めたアクションカードを完成させるには、時間がかかると予想される。
 - ・避難所に行かない人、行けない人に対するサポートを考えておいた方が良い。
 - ・「ペットとぼうさい」は、ボランティア団体。市民レベルでできることには限界がある。

ペットを飼っているペットとぼうさいメンバーが災害時をイメージしてみた

- ① 備蓄品、水なども準備しているし、ローリングストックで餌も 6 ヶ月分は備蓄がある。また、自宅避難でも困らないようにテントも準備してあるので、特に困ることは無い。自分が無事であることをイメージしているが・・・
- ② 自分が怪我をしたとき、隣の人が助けてくれることになっている。
- ③ 現在、家具の固定をしていない。まずは、家の中を安全にしなければならない。自分が死なないことが大事だと思っている。自宅以外の避難場所として、歩いて行ける親戚の家がある。
- ④ アイペット損害保険会社のペットのための防災対策に関する調査によると最寄り避難場所のペット可否情報「知らない」が約 8 割
ペットのための防災対策をしている飼い主は 2 割程度
<https://www.ipet-ins.com/info/26780/>
- ⑤ マンションなので、避難所には行かない。自分が留守をしているときが心配。
- ⑥ 発電機も用意していた。自分が怪我をしたときや死亡したときの預け先を考えなくては。同行避難したとき、生活再建の段階でペットの預け先も考える必要がある。
- ⑦ 家具の固定もしている。備蓄も OK。トイレの躰もできていて、トイレは外でしたことがない。息子や近所の人が協力してくれる。大型犬なので、他人に飛びつくようなことがあると心配。
- ⑧ 70 世帯のマンションだが、どの世帯が猫を飼っているのかが分からない。同じマンション内で助け合えるような環境作りができると良いと思っている。日中は、テレワークで家族が家にいるので、日中に災害があったときには家族が対応してくれる。
- ⑨ 自分が生きていれば何とかかなると思っている。備蓄も 2 週間はある。人を警戒するペットを預かってもらえるのかが心配。野良犬にならないようにしたいと思っている。他人に迷惑をかけないようにしたい。
- ⑩ 増加する一人暮らし“うさぎ男子”。高齢者だけでなく、若い人が取り残される危険もある。

5 自治会長より

地域住民から、「道路で、犬のフンの放置をよく見かける」と苦情が届いている。

散歩のマナー啓発のチラシ案を考えて欲しい。

※右の案になりました。



■ミニ情報

イエローフラッグ

災害時、薬を持たずに逃げても、イエローフラッグを掲げた薬局に行けば、薬を無料で配布してもらえる。

- 薬局は、市と協定を結んでいる。
- 3日分の薬をもらえる。
- お薬手帳が必要。写真でも良い。
- 薬局以外に、麻生区の中学校 5ヶ所では、医師と薬剤師が配置され、診察してもらえる。



■次回定例会

日時 5月7日(土) 15:00 ~17:00
場所 自治会館1F 集会所
2022年度の会議時間の配分(目安)
アクションカードの検討 : その他(調査、講座など)
1時間30分 : 30分

以上